

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-4-2		事業名	観光都市さっぽろ推進事業
担当	観光文化局観光コンベンション部観光企画課 屋中、西田、小松、藤澤、笠井 TEL211-2376				
全体計画					
事業内容	観光客の継続的な来客増を図るため、観光地としての街の魅力を高めるとともに、増加を続ける個人旅行者対応の促進、ホスピタリティの向上による満足度アップ、そしてコンベンション誘致のための事業を以下の4つのプロジェクトで実施する。 ○個人客対応充実プロジェクト ○来客受入強化プロジェクト ○魅力づくり発信プロジェクト ○コンベンションプロジェクト		<年度別の事業内容>		
			[19年度]～[22年度] ○個人客対応充実プロジェクト 誘致ツール作成、現地プロモーション、観光基本情報整備、シーニックバイウェイ、共通利用パス実験(H19～20)等 ○来客受入強化プロジェクト 観光マップ制作、リアルタイム情報発信、観光ボランティアの育成・支援、札幌魅力再発見研修等 ○魅力づくり発信プロジェクト 魅力づくり助成金、プロモーション助成金、ポスター・リーフレット制作、関西圏への集中プロモーション(H22)等 ○コンベンションプロジェクト 展示会・見本市出展、キーパーソン招へい、インセンティブツアー誘致ツール制作、ノベルティグッズ制作(H20)等		
事業内容	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）		
	○個人客対応充実プロジェクト(9,781千円) 外国人向け観光基本情報整備840千円、札幌まちなみぐりパス実証実験事業負担金1,946千円、「さっぽろウェルカムステーション」実証実験事業補助金1,000千円、FIT(個人旅行)促進4,000千円、シーニックバイウェイ推進事業1,995千円 ○来客受入強化プロジェクト(7,667千円) リアルタイム情報発信システム構築2,500千円、観光マップ制作3,129千円、ホテルコンシェルジュ研修1,000千円、観光ボランティア育成支援事業919千円、SAPPORO記念写真撮影スポットガイド制作119千円 ○魅力づくり発信プロジェクト(5,182千円) 街の魅力創造支援1,500千円、観光プロモーション助成1,771千円、観光ポスター制作1,911千円 ○コンベンションプロジェクト(3,057千円) 国際コンベンション誘致プロモーション2,718千円、国内コンベンション誘致プロモーション339千円		○個人客対応充実プロジェクト(6,598千円) 外国人向け観光基本情報整備472千円、札幌まちなみぐりパス実証実験事業負担金971千円、シーニックバイウェイ推進事業1,155千円、FIT(個人旅行)促進4,000千円 ○来客受入強化プロジェクト(6,451千円) リアルタイム情報発信システム運営2,487千円、外国人向け日本文化紹介・基本会話ツール制作998千円、札幌の魅力再発見研修1,200千円、観光ボランティア育成支援事業901千円、市民と協働による観光ガイドブック制作865千円 ○魅力づくり発信プロジェクト(5,556千円) 芸術・文化・食等を活用した街の魅力創造支援2,000千円、観光PRリーフレットの制作2,556千円、観光プロモーション助成1,000千円 ○コンベンションプロジェクト(5,442千円) 国際コンベンション誘致プロモーション828千円、国内コンベンション誘致プロモーション2,653千円、インセンティブツアープロモーション1,961千円		
事業内容	平成21年度事業内容（予算）		平成22年度事業内容（予算）		
	○個人客対応充実プロジェクト(4,200千円) シーニックバイウェイ推進事業1,200千円、FIT(個人旅行)促進3,000千円 ○来客受入強化プロジェクト(6,800千円) リアルタイム情報発信システム運営2,500千円、札幌の魅力再発見研修500千円、観光ボランティア育成支援事業1,000千円、市民と協働による観光ガイドブック制作1,200千円、おもてなしレベルアップ事業800千円、さっぽろ広域観光圏二次交通実験事業800千円 ○魅力づくり発信プロジェクト(8,200千円) 芸術・文化・食等を活用した街の魅力創造支援2,000千円、観光PR映像制作3,200千円、観光プロモーション助成2,000千円、観光魅力づくり推進事業1,000千円 ○コンベンションプロジェクト(2,800千円) 国際コンベンション誘致プロモーション1,000千円、国内コンベンション誘致プロモーション400千円、インセンティブツアープロモーション1,400千円				

平成 21 年 度 第 2 次 新 ま ち づ くり 計 画 事 業 進 行 調 書 (そ の 2)

計画体系コード	5-4-2		事業名	観光都市さっぽろ推進事業		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
外国人観光客のリピーター率	25.4%	28.9%	未定	28.85%	30%	30%
札幌観光の満足度(おもてなし)	69.5%	78%	未定	73.6%	75%	75%
コンベンションの開催件数	911件	952件	1,059件	1,015件	1,050件	1,050件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■ 市民との連携、市民参加 観光ボランティアが観光案内所で観光案内をするなど市民参加によるホスピタリティの推進に取り組んでいる。来客受け入れ強化プロジェクトでは、参加する市民自身の満足度を高め、協働事業の充実に努めている。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力] 魅力づくり支援、プロモーション助成は事業者主体の観光資源開発や誘客促進に効果がある。 [人材協力] まちめぐりバス実証実験の事務局を担い、継続的事業の基盤づくりに寄与している。 [情報協力] 魅力再発見研修を通して各ホテルとの情報共有のためのネットワークを形成している。 [その他の協力](該当なし) ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり タクシー事業者向けの魅力再発見研修では、タクシー研修で実績のある札幌商工会議所との共催とした。また、ホテル研修では、札幌ホテル連絡協議会と事前に協議し各ホテルの理解が得やすいように工夫している。						
評 価 (成 果)			課 題			
○ 個人客対応充実プロジェクトでは、観光基本情報整備を着実に進め、共通利用バス実証実験の「札幌まちめぐりバス」の日本語版について、継続事業化するなど、一定の成果をあげることができた。 ○ 来客受入強化プロジェクトでは、外国人向け文化紹介・基本会話ツール、市民と協働によるガイドブックの制作、リアルタイム情報発信、観光ボランティアの育成・支援、札幌魅力再発見研修を着実に進めた。 ○ 魅力づくり発信プロジェクトでは、魅力づくり助成金により受け地側の魅力づくりを着実に進め、プロモーション助成金によって札幌への旅行商品の造成を促進することができた。 ○ コンベンションプロジェクトでは、コンベンション誘致を着実に進めることができ、昨年度は1,059件(およそ100件増)の開催につながった。			旅行会社、航空会社、ホテル業界、タクシー業界など、観光関連事業者とより一層連携して事業を進めていく必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
旅行代理店、航空会社、ホテル業界、タクシー業界などの観光関連事業者や新たに平成21年4月に認定されたさっぽろ広域観光圏の事業との連携をより一層強化し、「個人客対応充実」「来客受入強化」「魅力づくり発信」「コンベンション」の4つのプロジェクトを継続して推進していく。						

(単位:千円)

計画体系コード	5-4-2		事業名	観光都市さっぽろ推進事業		
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	37,650	37,650	37,650	37,050	150,000
	財国・道支出金	0	0	0	0	0
	財源市債	0	0	0	0	0
	財源内その他	0	0	0	0	0
	財源内一般財源	37,650	37,650	37,650	37,050	150,000
予算	事業費	37,650	29,265	22,000	-	88,915
	財国・道支出金	0	0	0		0
	財源市債	0	0	0		0
	財源内その他	0	0	0		0
	財源内一般財源	37,650	29,265	22,000		88,915
実績	事業費	25,687	24,047	-	-	49,734
	財国・道支出金	0	0			0
	財源市債	0	0			0
	財源内その他	0	0			0
	財源内一般財源	25,687	24,047			49,734
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				47.8%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 事業内容を精査・修正した。						
[20年度] 事業内容の精査により、事業費を圧縮した。						
[21年度] 既存事業の見直しとマンパワーを最大限活用したことで事業費が抑制された結果による。						